

一般質問



# 地域防災力の向上と 安心安全なまちづくり



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

**防災訓練について**

**問** 自治会未加入者への避難訓練の周知は。

**答** まちづくり協議会

主催の防災訓練や保育園、幼稚園、こども園、

小中学校を通じて自治会未加入世帯への情報提供、参加依頼を進め

ます。訓練を契機に共助の重要性の認識を図

ります。

**問** 防災士の役割と今後の課題について

**答** 地域防災力向上のため、地域の防災リーダーとして期待。個人

では活動しにくく、防災士間のネットワーク

構築が課題です。

**問** マイ・タイムラインの普及・啓発は。

**答** 災害対策は、住む場所、家族構成、年齢

などによって異なることから、今後は市からの情報発信時や防災出

前講座においてマイ・タイムラインの作成を

含めた自助・共助の取

組みについて、市民への普及・啓発に努めます。

**問** ペットとの同行避難について

**答** 市では、犬の登録時に「ペット同行避難ガイドライン」を配布

自分のペットは自分で守る意識を持ち、迷子

対策、しつけ、健康管理を日頃から行うよう

同行避難に関する知識の普及に努めています。



**車の後付け安全装置、購入・設置の助成は。**

**答** 今後の国や県、他

市町の動向を注視しながら、甲賀警察署及び

関係機関と連携を密にし、高齢ドライバーの交通事故防止の取り組みを検討します。

# 湖南市の今後の市政について！



誠心会 ● 小林 義典 議員

**問** 東京オリンピックと大阪・関西万博を迎えるにあたっての市としての考えは。

**答** 東京2020大会で機運が高まっている

中での取り組みとなることから、様々な健康

とスポーツに関する事業での「競う」「高める」といったことも進めて

いきたいと考えています。また、健康寿命の

延伸と地域活性化にも繋げていきたいです。

大阪・関西万博については、詳細な開催内容が明らかになつてく

れば遂次、観光インバウンドや市のPRなど、

市として取り組める要素について検討していきます。

**社会保障と就学補助について**

**問** 生活保護の実態について

**答** 令和元年10月末現在の生活保護受給者は、

212世帯299人。

生活保護支給額は、平成29年度は、4億9

511万6921円、平成30年度で4億47

51万4957円、令和元年度11月末の執行

済額は2億7163万6254円となっております。

生活保護受給者年代別表

年代	人数
20歳未満	52人
20代	13人
30代	19人
40代	30人
50代	43人
60代	53人
70代	65人
80代	24人
合計	299人

**問** 就学補助としてランドセルの無料配布を。

**答** ランドセルの現物支給については、ランドセルかランリュック

かは決めていません。一律の無料配布は予定していません。

就学援助制度の補助費は5万6百円で、令和2年度小学校入学予定児童から支給することとしました。